

# 「Connected Industries推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業」 公募説明会

2019年4月11日～25日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

IoT推進部

- 1** 事業概要、公募要領、公募条件
- 2** 審査フロー
- 3** 審査基準
- 4** e-Radによる提案書類の電子化・簡素化
- 5** 採択後の支援（経理手続き専門家の派遣（検討中））
- 6** 若手（40歳以下）、女性の研究員のPJへの参画
- 7** 提出期限と提出先
- 8** 公募関連資料
- 9** 全体スケジュール
- 10** 問合せ先

## 背景

我が国は、企業の優れた「技術力」や大学等の「研究開発力」、高い教育水準の「人材」、ものづくり等の「現場」から得られる豊富な「リアルデータ」等の点で恵まれた状況にありますが、このような強みを経済・社会システムの革新や新ビジネスの創出にスピード感を持って活用できているとは言い難い状況にあります。一方、人口減少や少子高齢化等、様々な社会課題に直面する「課題先進国」として、現場の豊富なリアルデータを活用し、課題解決につなげていくことも喫緊の課題となっています。

そのため、経済産業省はSociety5.0の実現に向けて、多様な人、機械、技術が国境を越えてつながり、新たな付加価値を創出し、社会課題を解決していく産業の在り方として「Connected Industries」のコンセプトを掲げ、重点5分野（**自動走行・モビリティサービス、ものづくり・ロボティクス、バイオ・素材、プラント・インフラ保安、スマートライフ**）を中心に、取組の加速化と政策資源の集中投入を図り、横断的な政策の推進と、リアルデータを巡るグローバル競争の中で我が国の勝ち筋を実現するとしています。

5分野についての提案を募集します

## 背景（つづき）

Connected Industriesの推進に当たっては、大企業や中堅企業等が所有するデータとスタートアップがもつAI等の革新的技術を活用することにより課題解決を実現できれば、社会をより良く変えることに加えて、新たな価値創造を果たす可能性があります。また、社会的なニーズが高い分野では、AI等の新技術をスピーディに社会に取り込むことができるため、諸外国と比較して、その開発・普及において優位な立ち位置にあります。他国よりも早くソリューションを創出することができれば、グローバルな展開も期待できます。

（注）ここで言う**スタートアップ**とは、付加価値の高い**ミッション性**を有し、大企業では容易に追従し得ない**独創的**かつ**革新的な技術**やビジネスモデルを世界に提供することを目指しており、戦略的な事業計画により短期間で**急激な成長**が期待できる法人を意味しています。

スタートアップ性は、4つの視点で外部審査委員が評価します。

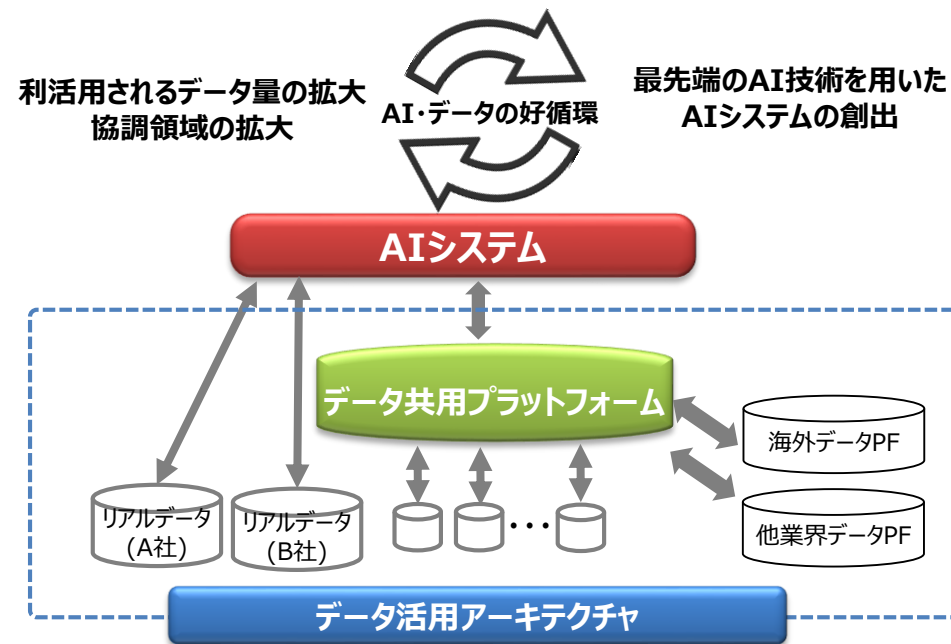
## 目的

本プロジェクトでは、Connected Industries重点5分野を中心に、海外や他分野に横展開可能であり、スタートアップ等の新規プレイヤーにとっても参入が容易な、開放的なデータエコシステムの構築に資する**業界横断型AIシステムの開発**と**業界共用データ基盤の開発**を行います。これらの開発を通じて、データプラットフォーム上で流通するデータがAIシステムにより利活用され、データプラットフォームの付加価値や魅力が高まり、更に多くのデータがプラットフォーム上で流通するという、**AI・データエコシステムの成功事例を創出し、国内企業にとどまらない幅広いデータ連携による価値の創出を促進**します。

# 公募要領、応募条件

本事業は、下記の研究開発項目（いずれも助成事業として実施）により構成されます。本公募要領は、ケースA、ケースB及びケースCを対象としたものです。応募に際し、**ケースA,ケースB及びケースCの複数提案を可**としますが、**交付決定は単一の提案のみ**とします。

- ケースA：**業界横断型AIシステムの開発**
- ケースB：**業界共用データ基盤の開発**
- ケースC：**業界横断型AIシステムと業界共用データ基盤の連携開発**



# 公募要領、応募条件

## ケースA：業界横断型AIシステムの開発

Connected Industries重点5分野を中心に、**複数社が利用可能なSaaS(Software as a Service)型の業界横断型AIシステムの開発**を行います。開発にあたっては、革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を提供することが可能であり、かつ、短期間での急成長が期待できるソリューションを目指します。

初年度から複数社と連携した開発やSaaS型でのAIシステム開発を実施することが望ましいですが、難しい場合には、段階的な開発も可とします。この場合、初年度は特定の一社と連携した開発も可としますが、2年目以降は、原則として複数社が利用可能なSaaS型AIシステムの開発段階へ移行するものとします。

開発がある程度まとまって進捗した時点で段階的にユーザーからの評価を受け、開発計画へ反映させることを目的として、ユーザビリティ評価の実施を実施計画に定めるものとします。

研究開発項目①では、本事業期間中に開発したAIシステムの**海外でのビジネス展開を目指す**こととします。

- **助成先は、AI技術を有する中小・中堅企業でありスタートアップと認められる者**とします。
- また、助成先は、以下のように**本助成事業遂行に十分なデータを確保が可能である者**とします。

1. 大企業や中堅企業等から提供されるリアルデータを活用する場合
2. 国内外のオープン/パブリックデータを活用する場合
3. シミュレーター上で学習用のデータを確保する場合

# 公募要領、応募条件



## ケースB：業界共用データ基盤の開発

Connected Industries重点5分野における国内外のプラットフォーム構築やプラットフォーム間の連携をするための**業界共用データ基盤の開発**を行います。開発にあたっては、リアルタイム性、ブロックチェーンの活用等、技術的に高度な仕組みを追求します。また、データの標準化や互換性向上に向けた取組を行い、種々のデータを保有する複数企業間でのデータ収集や利活用に向けたプラットフォームの構築を目指します。

実施にあたっては、**競合他社を含む分野横断的、又は諸外国と連携したプラットフォームの構築を追求**するものとします。

開発がある程度まとまって進捗した時点で段階的にユーザーからの評価を受け、開発計画へ反映させることを目的として、ユーザビリティ評価の実施を実施計画に定めるものとします。

研究開発項目②では、本事業期間中に開発した業界共用データ基盤の社会実装を目指すこととします。

なお、大企業・中堅企業・中小企業のいずれも助成対象となり得ます。ただし、体制により補助率が変わる場合がありますので、(6)事業スキーム図及び3. 応募要件、(4) 補助率、及び助成金の額をご確認ください。



## ケースC：業界横断型AIシステムと業界共用データ基盤の連携開発

業界横断型AIシステムと業界共用データ基盤の連携による、**AI・データエコシステムの創出を目的**とし、業界横断型AIシステム及び業界共用データ基盤開発を行います。開発にあたり求める内容は、ケースA及びケースBに記載されているとおりとします。

開発がある程度まとまって進捗した時点で段階的にユーザーからの評価を受け、開発計画へ反映させることを目的として、ユーザビリティ評価の実施を実施計画に定めるものとします。

なお、業界横断型AIシステムの開発と業界共用データ基盤の開発のいずれも、大企業・中堅企業・中小企業が助成対象となり得ます。ただし、体制により補助率が変わる場合がありますので、(6)事業スキーム図及び3. 応募要件、(4) 補助率、及び助成金の額をご確認ください。

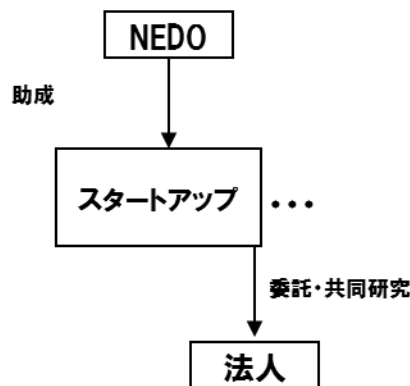
# 公募要領、応募条件



業界横断型AIシステムの開発



ケースA

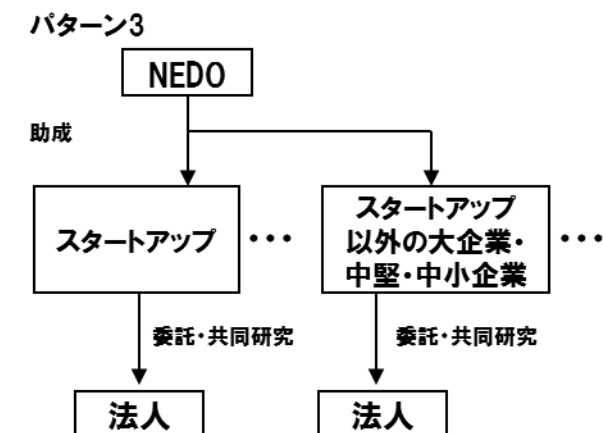
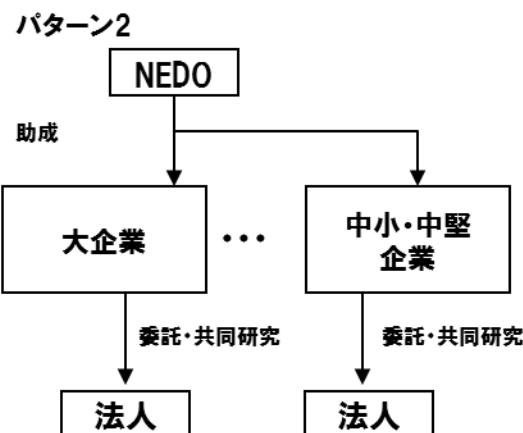
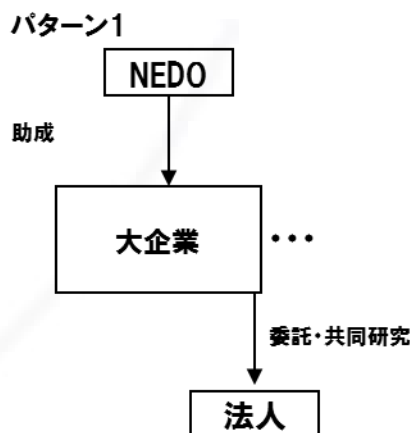


業界共用データ基盤の開発

業界横断型AIシステムの開発



ケースB,C



- 助成先は、単独または複数の体制が可能です。
- 助成事業者が学術機関等と共同実施を実施する場合、学術機関等への定額助成（消費税は除く）を行います。

# 公募要領、応募条件



## 補助率、及び助成金の額

補助率及び1件あたりの1年間の助成金額

	ケース A	ケース B、ケース C		
	—	パターン 1	パターン 2	パターン 3
助成先	スタートアップ 単独または複数	大企業 単独または 複数	大企業と 中小・中堅企業 (それぞれ単独 または複数)	スタートアップ とスタートアップ 以外の大企業・ 中堅・中小 企業 (それぞれ単独 または複数)
補助率	2/3	1/2	大企業 1/2、 中小・中堅：2/3	事業全体 2/3
助成金 (上限額)	1 億円	ケース B：1 億円 ケース C：3 億円		

# 事業期間と事業規模

## 事業期間

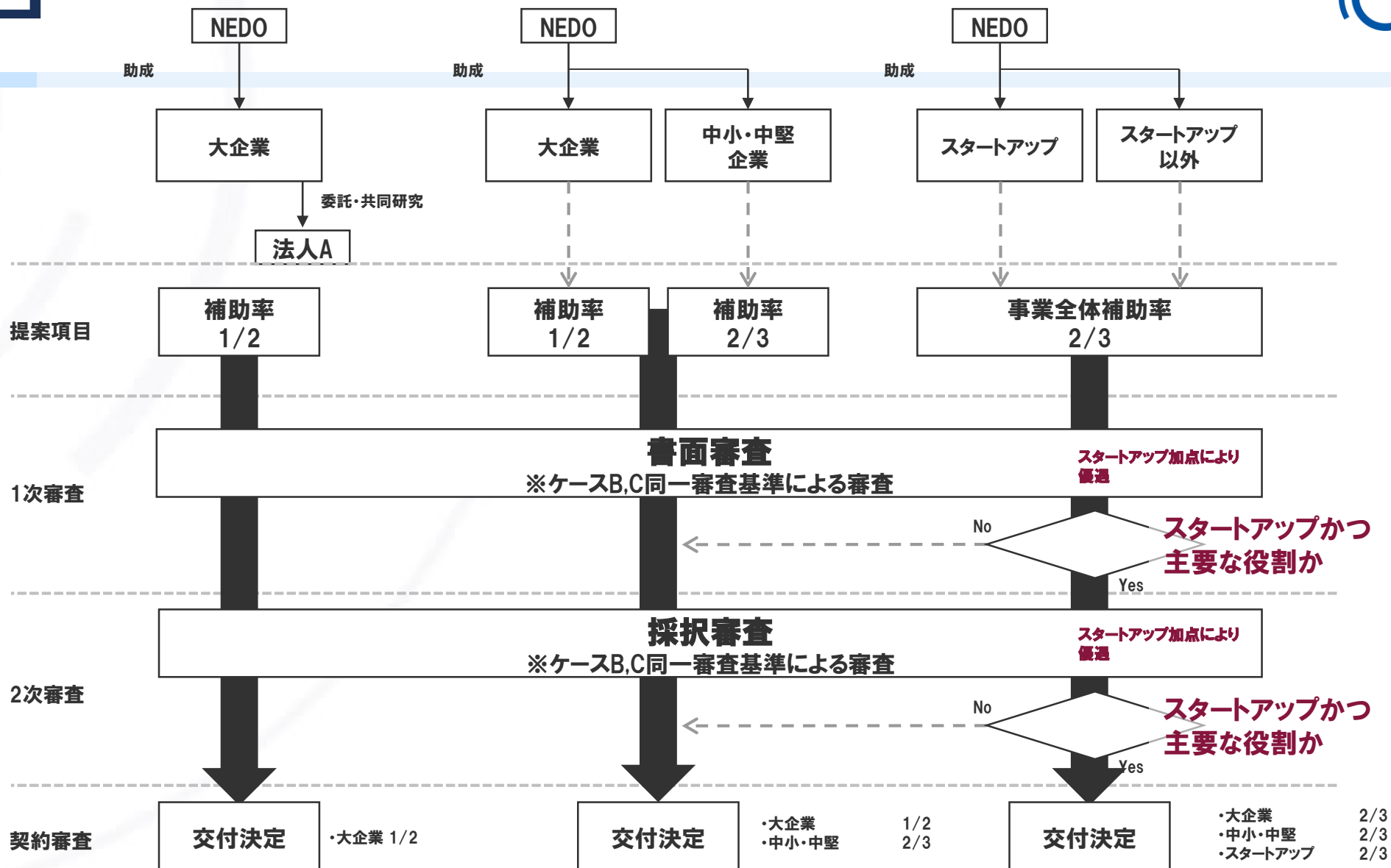
事業期間は2019年度から2021年度の**3年以内**とします。ただし、**ケースAとケースCの提案は、2年以上**の事業期間を要するものとします。

なお、研究開発を効率的に推進するため、**原則として1年を超える事業においては、ステージゲート審査を実施**します。ステージゲート審査では、研究開発の進捗状況を評価し、事業の継続可否を判断します。

## 事業規模

1年あたり20億円を事業規模の上限とし、予算の範囲内で採択します。なお、**助成金は審査の結果及び国の予算の変更等により提案額から減額して交付**することがあります。

# 審査フロー



# 審査フロー

## 公募締切り～1次審査

公募締切り後、**2019年5月より、1次審査として、提案書類一式に対する書面審査**を行います。

**1次審査は、外部審査委員により行います**。審査を通過した提案者には、**メールで2次審査の通知**を行います。

なお、**パターン3の提案において、1次審査で、直接助成先の中小・中堅企業にスタートアップ性が認められない、又は、開発における主要な役割を担っていないと判断される場合**があります。

その場合は、**パターン2として以降の審査を受ける**こととなります。

1次審査通過後に、必要に応じて資料の追加等をお願いする場合があります。

# 審査フロー

## 1次審査～2次審査

◎1次審査を通過した提案者の内、**会計監査人を設置していない会社を対象として会計士等による財務分析を実施します。**

**2019年5月下旬に2次審査**を行います。

◎2次審査では、**提案内容についてプレゼンテーションを行い、外部審査委員からの質疑**に対して回答していただきます。

また、審査では、**必要に応じてNEDOが経営的観点についての面談**を行います。

プレゼンテーション及び面談で使用する資料は、**1次審査通過の通知から約1週間後に提出**していただくため、資料の内容についてはあらかじめ検討しておく必要があります。

これらの資料は、提案様式等の関係書類としてお示ししている様式に従い、作成してください。

## 2次審査（面談について）

NEDOが1次審査後に指名する法人については、応募時に提出していただく**直近の3年の経営状況**を示す書類等に基づき、**財務情報を評価**し、さらに本助成事業での実施内容に対して発生する経費の内容を審査します。経費は、1次審査通過の通知から約1週間後に提出していただく「積算用総括表」を用いて審査します。積算用総括表には、具体的に抽出した実施事項に対して積みあげた経費とそのうち外注する経費についての情報を記入していただきます。

さらに、その他の補助金等の重複受給を避けるために、その他の補助金制度の受給又は受給予定の状況を面談で確認します。

面談に必要な情報の説明が乏しい、又は説明が行われなかった場合、良好な審査結果を得られない場合があります。



## 2次審査（プレゼンテーションについて）

以下に示すプレゼンテーション項目について、**10分程度**のプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーション項目は、以下プレゼンテーション内容を含むものとします。これらの項目に対する説明が乏しい、又は説明が行われない場合、審査で良好な評価を得にくい場合があります。

（プレゼンテーション内容）

**エグゼクティブサマリー**  
**事業立ち上げの経緯**  
**市場及び競合の分析**  
**ビジネスモデル**  
**立ち上げ計画**  
**出口戦略**  
**リスク管理**

**開発計画**

**達成目標・水準・指標の設定**

**開発終了後の3年分売上計画**

## 2次審査後～交付決定

2次審査後NEDO内に設置する**契約・助成審査委員会**で最終的に採択決定し通知を行います。採択決定は、2019年6月頃の予定です。審査の内容によって、実施内容や助成対象経費の変更等が「採択の条件」となる場合があります。「採択の条件」に不服がある場合は申請を取り下げることができます。なお、**採択決定は助成金の交付決定ではありません。**

採択決定された提案者の内、会計監査人を設置していない会社には「200万円以上（税込）の「見積もり・取引予定先一覧」を提出していただきます。

**採択決定の通知後1か月以内**に、助成金交付申請書が提出され次第、NEDOは交付決定の手続に入ります。

各条件等の確認後、所定の文書手続を経て、順次NEDOが助成金の交付決定を通知します。また、2019年8月上旬（予定）に交付決定された一部の申請情報を公表いたします（応募者の氏名、助成先法人名、助成事業の名称及び助成事業の概要）。さらに、採択審査委員（評価者）の所属、氏名を交付決定後にNEDOのウェブサイトに公表します。助成事業は、交付決定通知書に記載する事業開始日以降に開始することができ、それ以前の経費は助成対象として計上できません。

**不採択の場合、不採択理由を添えてその旨を通知いたします。**

交付決定後、必要に応じてニュースリリースを行う場合があります。**採択事業者が採択に係るニュースリリース等を実施する場合は事前にNEDO担当部まで**ご相談ください。

## 審査基準

### i. 事業者評価

技術的能力（リアルタイム処理、ブロックチェーン等先進技術への取組）、助成事業を遂行する経験・ノウハウ、財務能力（経理的基礎）、経理等事務管理／処理能力

### ii. 事業化評価（実用化評価）

新規性（新規な開発又は事業への取組）、市場創出効果、市場規模、社会的目標達成への有効性（社会目標達成評価、**データ共有認定制度(生産性向上特措法)での認定を目指す取組**）

### iii. 企業化能力評価

実現性（企業化計画）、**目指す規模と期間**、生産資源の確保、販路の確保（**グローバル性**）

### iv. 技術評価

技術レベルと助成事業の目標達成の可能性、基となる研究開発の有無、保有特許等による優位性、技術の展開性、製品化の実現性、重要技術課題との整合性

### v. 社会的目標への対応の妥当性

海外の研究機関、企業とのパラレル支援等の自国費用自国負担による国際連携

特にNEDOの指定する相手国の公的支援機関の支援を受けている、あるいは受けようとしている相手国研究機関、企業との連携

### vi. スタートアップ性評価

**ミッション性、独創性、急成長志向、技術力**

スタートアップ性の4つの評価項目のうち1つの項目で評価された場合、**当該中小・中堅企業をスタートアップであると判定するとともに、加点されることとなります。また、2つ以上の項目で評価された場合は、更に加点評価されることとなります。**

vii. **ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況**（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第20条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては**加点評価されることとなります。**

また、**若手研究者（40歳以下）**が主任研究者として登録され、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合や、提案者が「**J-Startup企業**」として選出されている場合や**IoT推進ラボセレクションのファイナリスト**である場合は、**加点評価されることとなります。**

# 審査基準 助成金の交付先に関する選考基準



助成金の交付先は、次の基準により選考するものとします。

i . 助成金交付申請書又は申請書の内容が次の各号に適合していること。

助成事業の目標が機構の意図と合致していること。

助成事業の方法、内容等が優れていること。

助成事業の経済性が優れていること。

ii . 助成事業における助成事業者の遂行能力が次の各号に適合していること。

関連分野における事業の実績を有していること。

助成事業を行う人員、体制が整っていること。（国際共同研究体制をとる場合、そのメリットが明確であること。また、特にNEDOが指定する相手国の公的資金支援機関の支援を受けようとしている（又は既に受けている）場合はその妥当性が確認できること。）当該開発等に必要な設備を有していること。

助成事業の実施に必要な設備を有していること。

経営基盤が確立していること。

助成事業の実施に関して機構の必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

# 新たな取組①：e-Radによる提案書類の電子化・簡素化

1次審査時：e-Radでの概要の作成、ビジネスモデルキャンバス、審査上必要な様式の作成

2次審査時：1次審査で提出した概要情報の具体化（プレゼンテーション資料、積算）

交付申請時：助成金の手続きに必要な書類の作成・提出

## 提案時（1次審査前）

- ・ 提案書（**e-Radで作成および申請**）
- ・ チェックリスト（PDFファイル）
- ・ ビジネスモデルキャンバス（PDFファイル）
- ・ 応募体制図（PDFファイル）
- ・ 提案者一覧表（Excelファイル）
- ・ 利害関係の確認について（PDFファイル）
- ・ 主任研究者研究経歴書（PDFファイル）
- ・ 若手研究者（40歳以下）及び女性研究者数の記入について（PDFファイル）
- ・ NEDO研究開発プロジェクトの実績調査票（企業のみ）（PDFファイル）

- ・ 会社案内等、会社概要をまとめた資料（PDFファイル）
- ・ 貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書等の直近3年分の経営状況を示す書類（PDFファイル）

## 2次審査前

- ・ プレゼンテーション資料（PDFファイル）
- ・ 積算用総括表（Excelファイル）

## 交付申請時

- ・ 助成金交付申請書

応募に必要な提案書類一式は、e-Radページからの提出のみ可となっております。  
e-Radにログイン後、新規公募→公開中の公募（新規応募）へと移動し、  
以下の中から該当する公募名を検索いただき、公募の概要や詳細を確認の上で、  
応募してください。

- **業界横断型AIシステムの開発（2019年度公募）**
- **業界共用データ基盤の開発（2019年度公募）**
- **業界横断型AIシステムと業界共用データ基盤の連携開発（2019年度公募）**

# e-Radでの申請の行い方



公開中公募一覧 - Internet Explorer  
e- https://www.trial.e-rad.go.jp/erad/e02/e0204g02/

eRad  
新規応募 提出済の課題 エフォートの管理 その他

研究者 > 新規応募 > 公開中の公募 (新規応募) お問合せ 操作マニュアル

## 公開中の公募一覧

現在公開中の公募情報を検索し、応募することができます。

検索条件

検索項目/検索文字列 **公募名** [部分一致]

表示件数 100件

▼ 詳細条件を表示

検索条件クリア 検索

公開中の公募一覧

- 公募情報の詳細は、「公募名」のリンクをクリックしてください。
- 応募する場合は、「応募する」ボタンをクリックしてください。

検索結果のダウンロード

公募年次	公募種別	公募名	単位	承認の要否	締切日時	機関内締切日時	応募
2019	M-FIサイボイン訓練 (国創)	<a href="#">平成31年度戦略基盤技術高度化支援事業</a>	研究機関単位	-	2019/04/30 17時00分		
2019	ヘルプデスク配分機関	<a href="#">年度ごとの募集申請の要否を必要とする公募</a>	研究者単位	不要	2019/04/30 18時30分		<b>応募する</b>
2019	ヘルプデスク配分機関	<a href="#">研究開発課題名の文字数に関する研究</a>	研究者単位	不要	2019/08/31 12時00分		<b>応募する</b>

トップページへ

検索窓に提案を希望するタイトル名を入力し、検索。

ケースA：業界横断型AIシステムの開発

ケースB：業界共用データ基盤の開発

ケースC：業界横断型AIシステムと

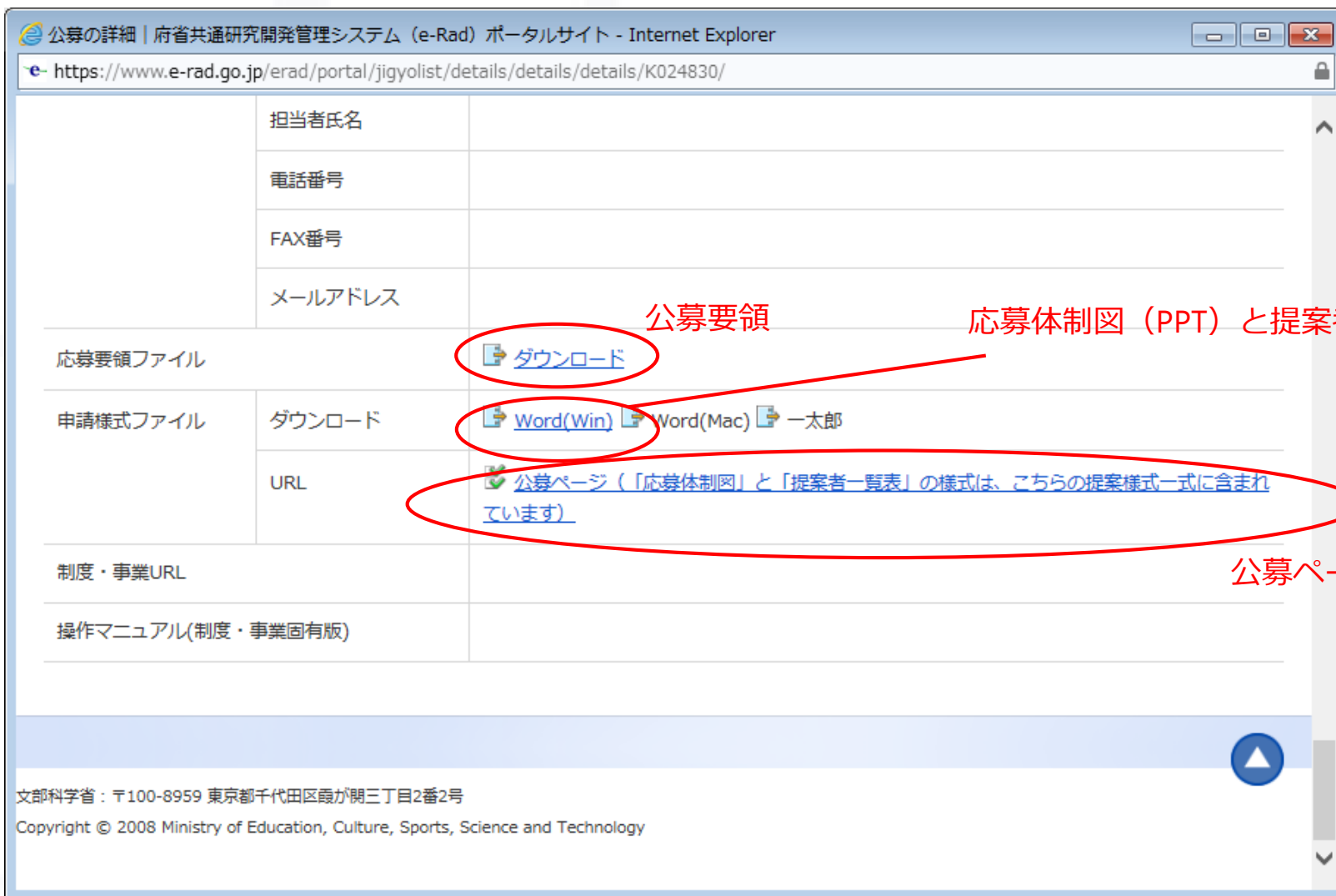
業界共用データ基盤の連携開発

該当する公募を選択することで、  
様式などの詳細情報が確認できます。

応募は「応募する」ボタンを押下することで  
行うことができます。

# e-Radでの申請の行い方

公募の詳細画面。提案にあたり必要な様式はこちらからダウンロードします。



The screenshot shows a web browser window with the URL <https://www.e-rad.go.jp/erad/portal/jigyolist/details/details/details/K024830/>. The page contains a table with the following information:

担当者氏名	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
応募要領ファイル	<a href="#">ダウンロード</a>
申請様式ファイル	ダウンロード <a href="#">Word(Win)</a> <a href="#">Word(Mac)</a> <a href="#">一太郎</a>
	URL <a href="#">公募ページ (「応募体制図」と「提案者一覧表」の様式は、こちらの提案様式一式に含まれています)</a>
制度・事業URL	
操作マニュアル(制度・事業固有版)	

公募要領

応募体制図 (PPT) と提案者一覧表 (Excel) 以外の、Wordの様式一式

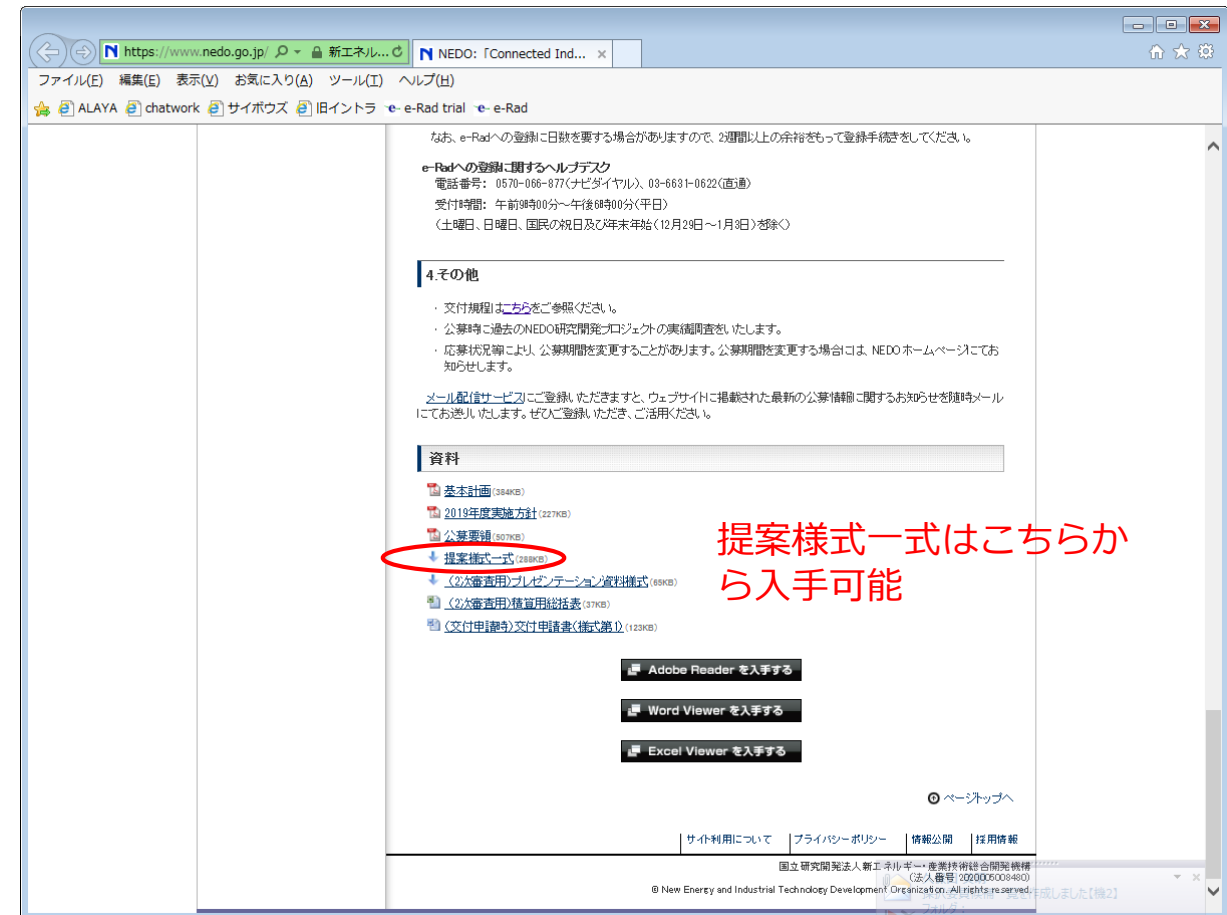
公募ページへのリンク (上記様式含めて全てダウンロード可)



# e-Radでの申請の行い方



NEDO公募ページ。応募体制図（PPT）と提案者一覧表（Excel）はこちらからダウンロードできます。



# e-Radでの申請の行い方



応募の入力画面。

The screenshot shows a web browser window with the URL <https://www.e-rad.go.jp/erad/e02/e0204g05/previewFromKobo>. The page title is "応募 (新規登録) - Internet Explorer". The browser menu includes "ファイル(E)", "編集(E)", "表示(V)", "お気に入り(A)", "ツール(I)", and "ヘルプ(H)". A navigation bar at the top right contains "操作マニュアル" and "経過時間 (00:25)".

A blue information box at the top states: "入力値チェックは研究者が実際に入力するときと同様の内容で行われます。"

## 応募 (新規登録)

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。  
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。  
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公募年度/公募名	2019年度 / Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業/業界横断型AIシステムの開発 (2019年度公募)
課題ID/研究開発課題名	XXXXXXXX / 100文字以内

Navigation tabs: 基本情報 (selected), 研究経費・研究組織, 個別項目, 応募・受入状況

### 基本情報

研究期間 (西暦)	必須	最短研究期間: 2年 最長研究期間: 3年 (開始) [ ] 年度から(終了) [ ] 年度まで		
研究分野(主)	研究の内容	必須	Q 研究の内容を検索	クリア
キーワード	必須	[ ]	キーワード	削除

Buttons: 行の追加, 選択行の削除

Footer: 閉じる, 一時保存, 応募内容提案書のプレビュー, 入力内容の確認

# e-Radでの申請の行い方

名称	形式	サイズ	ファイル名
応募情報ファイル	[pdf]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
応募体制図	[PowerPoint (PPT, PPTX)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
提案者一覧表	[Excel (XLS, XLSX)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
会社案内等、会社概要をまとめた資料	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除
貸借対照表、損益計算書及びキャッシュフロー計算書等の直近2年分の経営状況を示す書類	[PDF (PDF)]	10MB	<input type="text"/> 参照 クリア 削除

## 【必須】

下記二つの様式以外を全てPDFにしてアップロードしてください →

【必須】 応募体制図はこちらからアップロードしてください →

【必須】 提案者一覧表はこちらからアップロードしてください →

# e-Radでの申請の行い方



応募の個別項目入力画面。

応募（新規登録） - Internet Explorer

https://www.e-rad.go.jp/erad/e02/e0204g05/previewFromKobo

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

## 応募（新規登録）

応募を行うに当たって必要となる各種情報の入力を行います。  
画面はタブ構成になっており、それぞれのタブをクリックすると各タブでの入力欄が表示されます。  
各タブの必要な項目をすべて入力し、「入力内容の確認」をクリックしてください。

公算年度/公算名: 2019年度 / Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業/業界横断型AIシステムの開発 (2019年度公算)

課題ID/研究開発課題名:  XXXXXXXX / 100文字以内

基本情報 | 研究経費・研究組織 | **個別項目** | 応募・受入状況

法人名  必須

郵便番号  必須

住所  必須

連絡用電話番号  必須

連絡用メールアドレス  必須

応募代表者役職  必須

応募代表者氏名  必須

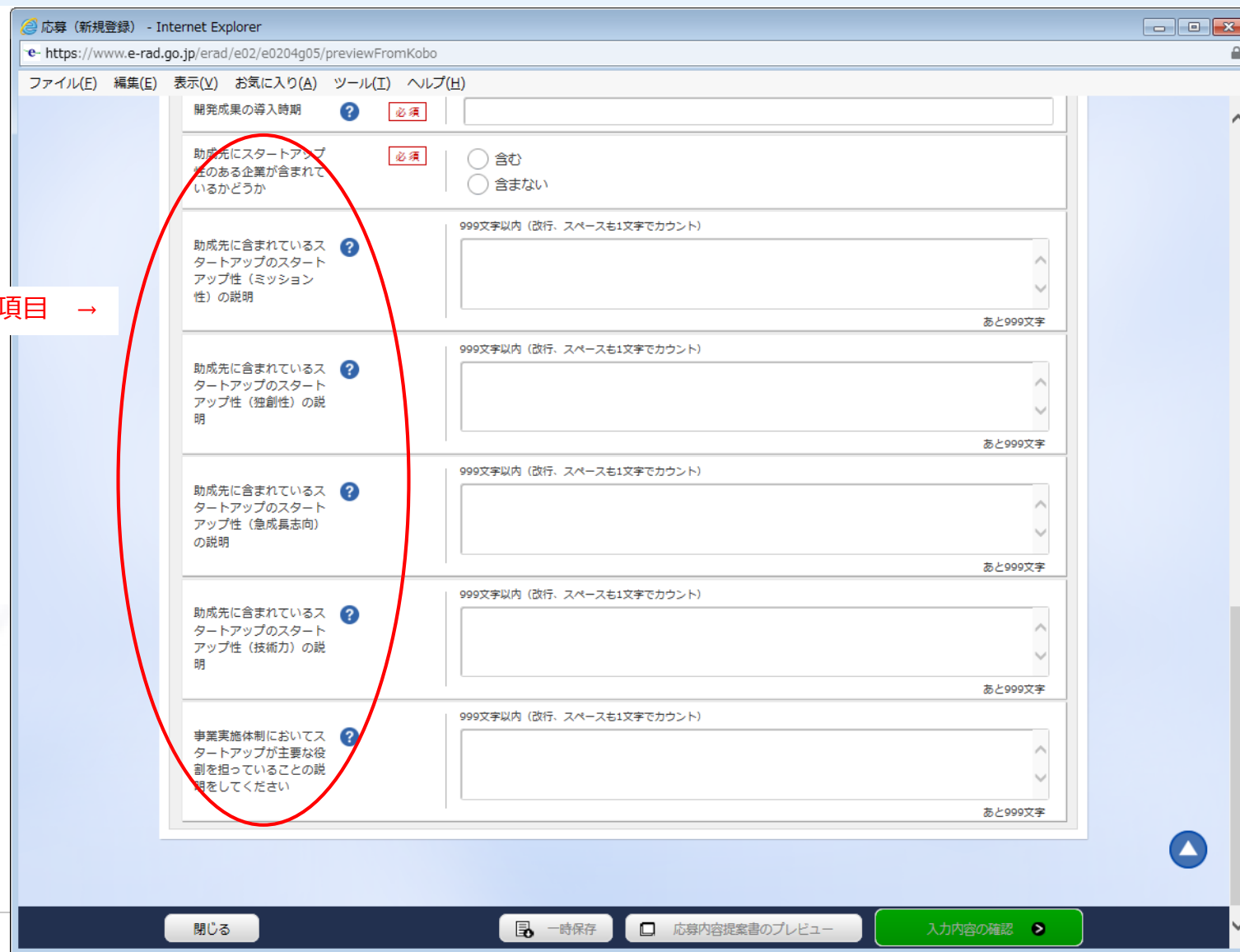
応募分野  必須

- 自動走行・モビリティサービス
- ものづくり・ロボティクス
- プラント・インフラ保安
- スマートライフ
- バイオ・素材

閉じる | 一時保存 | 応募内容提案書のプレビュー | **入力内容の確認**

# e-Radでの申請の行い方

助成先にスタートアップが含まれる場合に入力が必須の項目 →



応募 (新規登録) - Internet Explorer  
https://www.e-rad.go.jp/erad/e02/e0204g05/previewFromKobo

ファイル(E) 編集(E) 表示(Y) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)

開発成果の導入時期 ? 必須

助成先にスタートアップ  
法のある企業が含まれて  
いるかどうか 必須  含む  
 含まない

助成先に含まれているス  
タートアップのスタート  
アップ性 (ミッション  
性) の説明 ? 999文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)  
 あと999文字

助成先に含まれているス  
タートアップのスタート  
アップ性 (獨創性) の説  
明 ? 999文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)  
 あと999文字

助成先に含まれているス  
タートアップのスタート  
アップ性 (急成長志向)  
の説明 ? 999文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)  
 あと999文字

助成先に含まれているス  
タートアップのスタート  
アップ性 (技術力) の説  
明 ? 999文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)  
 あと999文字

事業実施体制においてス  
タートアップが主要な役  
割を担っていることの説  
明をしてください ? 999文字以内 (改行、スペースも1文字でカウント)  
 あと999文字

閉じる 一時保存 応募内容提案書のプレビュー 入力内容の確認

# 新たな取組②：採択後の支援について

## 経理手続きの専門家の派遣

経理書類作成についてNEDOなど公的機関とのやり取りについて詳しい方を1回/月程度派遣し、助言を行う等の支援体制の構築を検討中です。

# 若手（40歳以下）、女性の研究員のPJ参画

## － 若手研究者（40歳以下）及び女性研究者数の記入について －

「第5期科学技術基本計画」（平成28年1月22日閣議決定）において、若手研究者や女性研究者の育成・活躍促進が掲げられています。NEDOにおいてもこれらの活動を促進するため、その一環として事業における当該研究者の参加予定数について、以下に記入の上、提出をお願いします。いただいた情報は研究開発責任者候補及び主要研究員研究経歴書と併せて、研究開発等実施体制の審査のために利用されます。

※助成先で登録予定の研究者を対象としてください。委託先等は除きます。

※※年齢は研究開始年度の4月1日時点を基準としてください。

また、若手研究者（40歳以下）が主任研究者として登録され、当該研究者の実績や将来性等を加味した提案になっている場合や、提案者が「J-Startup企業」として選出されている場合やIoT推進ラボセレクションのファイナリストである場合は、加点評価されることとなります。

# 応募に関する注意

**応募者は必ず事前に e-Rad の登録を行ってください。**

提案書類一式は日本語で作成してください。また、審査は日本語で行います。

国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等と締結した共同研究契約書の写し、又は当該外国企業との共同研究の意志を示す覚書の写し1部。

e-Rad による登録手続きを行わないと本事業への応募ができませんので、十分留意ください。所属機関の登録手続きに日数を要する場合があります。2 週間以上の余裕をもって登録手続きを行ってください。



# AI・データの利用に関する契約ガイドライン



共同開発等にあたっては、当該ガイドラインに示す留意事項に配慮した上で、契約条項例を参考とし契約を行ってください。

- ・ 経済産業省：AI・データの利用に関する契約ガイドライン

<https://www.meti.go.jp/press/2018/06/20180615001/20180615001.html>

# 提出期限及び提出先



応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）で以下の応募期限まで受け付けます。応募者は事前にe-Radへ登録の上、応募を行ってください。連名の場合は、代表法人が登録を行ってください。

**応募期限：2019年5月9日（木）17時**

※e-Radへの情報入力は、**募集締め切りから数日以上の余裕**を持つようにしてください。

締切当日はe-Radシステムが混雑し、入力作業に著しく時間を要する恐れがあります。

※入力情報は「**一時保存**」が可能です。また、提案書の提出後も提案者自身が「**引き戻し**」を行い、再編集することが可能です。

詳しくはe-Radポータルサイトに掲載されている研究者向けマニュアルをご参照ください。

ただし、**募集締め切り当日は「引き戻し」を行わないよう**にしてください。e-Radシステムが混雑し、引き戻し後の再編集に著しく時間を要する恐れがあります。

※一次審査通過者は、プレゼンテーション資料とPCを審査日当日に持参してください。

下記の提案様式等の関係書類は、NEDOホームページの本公募ページ又はe-Radの公募ページからダウンロードすることができます。

本公募ページ：[https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2\\_100105.html](https://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100105.html)

- ① 公募要領【PDF】
- ② 提案様式【Zip】
- ③ 交付規程【PDF】
- ④ 実施方針【PDF】
- ⑤ (2次審査用) 積算用総括表【Excel】
- ⑥ (2次審査用) プレゼン資料様式【PPT】

# 全体スケジュール



2019年

公募期間 :	4月10日～5月9日
公募説明会 :	4月11日～4月25日
審査期間 :	5月上旬～6月上旬
採択通知 :	6月上旬
交付決定 :	8月上旬

# 問合せ先



## 応募に関する問い合わせ先

応募に関する質問等は公募説明会で受け付けます。それ以降のお問い合わせは、**4月11日から4月25日**の間に限り下記宛てに**電子メールで受け付け**ます。ただし**審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません**。

## 問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）IoT推進部公募担当

メールアドレス：[cip@ml.nedo.go.jp](mailto:cip@ml.nedo.go.jp)

## (参考) 事業会社に向けたAIベンチャーとの共同開発に関する手引き



研究開発型のAIベンチャーとともにAIシステムの開発と事業化を行う事業会社を対象に、連携に際して認識しておくべきポイントを取りまとめた手引きを作成しました。

事業会社とAIベンチャーがスムーズな連携を図るためには、考え方に違いがある点を相互に理解し、協議を通じて課題を解決することが重要となります。本手引きは、両者が理解しておきたい協議の視点にフォーカスし、実際にAIシステム開発に携わる事業会社やAIベンチャーを対象とした調査(アンケート、ヒアリング等)を通じて、事業会社が認識しておくべき「こころ構え」を抽出するとともに、必要な検討の視点を提示しつつ、参考となる既往資料を示しております。事業会社のAIシステム開発に関わる皆様におかれましては、プロジェクトのフェーズに関わらず、本手引きをご活用ください。

- ・ 事業会社に向けたAIベンチャーとの共同開発に関する手引き  
～連携にあたり理解しておきたい24の「こころ構え」～

[https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2\\_100063.html](https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP2_100063.html)